

令和6年度
社会福祉法人 鳳雛会
事業報告書

社会福祉法人 鳳雛会

社会福祉法人鳳雛会 障害者支援施設どんぐり等事業報告書

I 障害者支援施設どんぐり事業報告書

1、総括

新型コロナ等の感染症などの影響もなく、外泊や外出などの機会も増え、面会なども通常通りに戻り通常の日常生活に近づいた1年であった。外からの犯罪に備え施設の防犯の強化を行い、施設全体で研修などの頻度なども増やし、様々な事に対する能力のレベルアップにも力を注いだ1年であった。

今年度新規入所者は1名、退所者は2名となっている。

2、職員体制

施設長兼サービス管理責任者1名 総務部長1名 事務員2名 介護主任1名 医師1名(嘱託) 看護師4名 介護職員20名(内14名常勤 6名非常勤)

運転手3名 栄養士1名 作業療法士1名

支援

(1)利用者の状況

① 年齢別の状況

	～18歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	計	平均年齢
男	0	0	0	3	6	1	3	13	55.3
女	0	0	0	1	5	3	5	16	59
計	0	0	0	7	11	4	8	30	57.3

② 在所期間の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
男	0	1	2	1	9	13
女	0	5	0	6	6	17
計	0	6	2	7	15	30

③身体障害者手帳等級別の状況

	1級	2級	その他	計
男	6	2	8	16
女	4	2	7	13
計	10	4	15	30

(2)生活

タイムテーブル

	平 日	入 浴	土 日
6:00	巡回	巡回	巡回
7:00	起床、排泄、更衣	起床、排泄	起床、排泄、更衣
8:00	朝食、服薬、歯磨き	朝食、歯磨き、バイタル	朝食、服薬、歯磨き
9:00	朝のラジオ体操	入浴	薬塗り
10:00	日課活動	水分補給、排泄	水分補給、排泄
11:30	昼食 服薬	昼食 服薬	昼食、服薬
13:00	排泄	排泄	排泄
13:30	課外活動、処遇	課外活動、処遇	自由時間
16:00	脱車いすタイム	水分補給、排泄	水分補給、排泄
17:00	夕食 服薬	夕食 服薬	夕食、服薬
18:00	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣
20:00	就寝薬	就寝薬	就寝薬
21:00	消灯	消灯	消灯
0:00	巡回	巡回	巡回
3:00	巡回	巡回	巡回

3、行事等

4月中旬どんぐりお花見 7月初旬七夕祭り 8月下旬どんぐり縁日 10月初旬大運動会 11月中旬紅葉ツアー 1月初旬お正月遊び 2月上旬おゆうぎ会

健康管理

毎週月曜日、金曜日安田医院より安田ドクター往診

月1回の体重測定、

入浴前のバイタルチェック等

年2回の健康診断

(1) 研修

事故防止研修、障がい者虐待防止研修、感染症予防施設内研修等、危機管理・防犯対策、接遇マナー研修、アセスメント研修

(5) 地域との連帯

(1)年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。

(2)新聞や、研修事業を開き、交流等を図る

(3)敷地広場の開放・バーベキューコンロ無料貸し出し

(4)各教室の場所の提供(ジャズダンス教室、空手教室、少林寺拳法教室など)

(6) 防災

年2回の防火訓練を行う。

II どんぐり生活介護事業報告書

1.総括

新型コロナウイルス等の感染などもなく通常通りの生活介護であった。

職員体制

施設長兼サービス管理責任者1名 総務部長1名 事務員2名 介護主任1名

医師1名(嘱託) 看護師1名 介護職員20名(内14名常勤 6名非常勤)

運転手2名 栄養士1名

利用者の状況

①年齢別の状況 (通所の利用者)

	～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	計	平均年齢
男	3	2	5	3	1	1	15	52.8
女	7	1	2	2	0	0	12	39.6
計	10	3	7	5	1	1	27	46.9

※最年長75歳、最年少18歳

②身体障害者手帳等級別の状況

	1級	2級	3級	その他	計
男	13	1	0	1	15
女	10	0	0	2	12
計	17	1	0	3	27

③支援内容

- 1) 月～金曜日 10:00～16:00 ※祝日は除く
- 2) 送迎 8:00～10:00 16:00～18:00
- 3) タイムテーブル
 - 10:00 到着 水分補給 バイタルチェック
 - 10:30 入浴 排泄等 (3F ジャグジーや岩盤浴にて足浴)
 - 11:30 昼食 服薬
 - 13:00 排泄
 - 13:30 課外活動 処遇 (クレイクラフトフト、カラオケ、ボーリングなど)
 - 15:00 排泄、水分補給
 - 16:00 出発
- 4) 行事
 - どんぐり施設と合同行事に参加、園外での外出(遠足、観劇、ピクニックなど)
- 5) 健康管理
 - 月1回の体重測定、
 - 入浴前のバイタルチェック等
- 6) 地域との連帯
 - ①年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
 - ②事業所イベントに参加して、様々な社会参加を行っている。
 - ③新聞や、研修事業を開き、交流等を図る

④防災

年2回の防火訓練を行う。

Ⅲどんぐりショートステイ事業所事業報告書

1.総括

新型コロナウイルス等の感染などもなく通常通りのショートステイであった。

職員体制

施設長兼サービス管理責任者1名 総務部長1名 事務員2名 介護主任1名
 医師1名(嘱託) 看護師1名 介護職員20名(内14名常勤 6名非常勤)
 運転手2名 栄養士1名

利用者の状況

① 年齢別の状況

	～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	計	平均年齢
男	3	2	5	3	1	1	15	52.8
女	7	1	2	2	0	0	12	39.6
計	13	2	3	1	1	0	20	46.9

※最年長73歳、最年少19歳

② 利用者出身市町村

	3市1町	奈良県内	大阪府	その他	計
男	8	7	0	0	15
女	11	1	0	0	12
計	19	8	0	0	27

③ 生活

タイムテーブル

	平 日	入 浴	土 日
6:00	巡回	巡回	巡回
7:00	起床、排泄、更衣	起床、排泄	起床、排泄、更衣
8:00	朝食、服薬、歯磨き	朝食、歯磨き、バイタル	朝食、服薬、歯磨き
9:00	薬塗り	入浴	薬塗り
10:00	水分補給、排泄	水分補給、排泄	水分補給、排泄
11:30	昼食 服薬	昼食 服薬	昼食、服薬
13:00	排泄	排泄	排泄
13:30	課外活動、処遇	課外活動、処遇	自由時間
15:00	水分補給、排泄	水分補給、排泄	水分補給、排泄
17:00	夕食 服薬	夕食 服薬	夕食、服薬
18:00	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣
20:00	就寝薬	就寝薬	就寝薬
21:00	消灯	消灯	消灯
0:00	巡回	巡回	巡回
3:00	巡回	巡回	巡回

行事等

4月中旬どんぐりお花見 7月初旬七夕祭り 8月下旬どんぐり縁日 10月初旬大運動会 11月中旬紅葉ツアー 1月初旬お正月遊び 2月上旬おゆうぎ会

④健康管理

毎週月曜日、金曜日安田医院より安田ドクター往診
月1回の体重測定、
入浴前のバイタルチェック等

IVホームヘルプステーションどんぐり事業報告書

1. 総括

新型コロナウイルスであっても、生活を守ることから支援を継続し、利用者の入れ替えもなく、トラブルもない安定した年度で、利用者の方も比較的安定した状態でのサービス提供であった。身体的にも変化が少なく来年も変わりなく継続ができる様子。

職員体制

管理者1名 サービス提供責任者1名 ヘルパー5名

利用者の状況

① サービス種別状況

	身体介護	通院介護	移動支援	家事援助	同行・行動	合計
男子	2	2	2	0	2	8
女子	2	1	1	2	2	8
合計	4	3	3	2	2	14

② 利用者出身市町村

	香芝市	大和高田市	葛城市	広陵町	その他	合計
男子	5	1	0	0	0	6
女子	2	1	0	2	0	5

合計	7	2	0	2	0	11
----	---	---	---	---	---	----

V 相談支援センターどんぐり事業報告書

1. 総括

- 2 市 1 町との契約を引き続き結ぶ。区分認定、計画相談、モニタリングといった主な仕事に、支援区分認定調査の仕事も入る。積極的に地域の協議会に参加し、地域課題を整理、課題解決に向け活動を行う。今年度は、医的ケア児の支援体制強化の経口がみられ、来年度の市町との契約にも盛り込まれる見込みである。

職員配置

管理者 1 名 相談支援員 2 名

① 計画相談 市町村別登録者数

市町村名	宇陀市	王寺町	川合町	樫原市	葛城市	広陵町
登録者数	1	3	2	2	13	59
市町村名	香芝市	桜井市	上牧町	大和郡山市	大和高田市	天理市
登録者数	246	3	1	1	9	1
市町村名	田原本町	平群町	明日香村	太子町	16 市町村	
登録者数	1	2	2	1	347	

② 区分判定調査 市町村別利用者数

市町村名	香芝市	新宮市			2 市
利用者数	35	1			36

③ 相談支援連絡会

市町村名	香芝市	自立支援協議会 (3 市 1 町)	相談支援部会 (3 市 1 町)	3 団体
開催回数	3 回	コロナのため中止	コロナのため中止	3 回

4、地域との連帯

- (1) 年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- (2) 事業所イベントに参加して、様々な社会参加を行っている。
- (3) 新聞や、研修事業を開き、交流等を図る

5、防災

年 2 回の防火訓練を行う。

6、その他

VI どんぐり学園香芝校 (児童発達支援事業、放課後等デイサービス)

1、総括

引き続き、身体障害、知的障害、発達障害等多種にわたる障害をもった児童に対し、集団生活の適応能力、日常生活動作の確立、コミュニケーション能力の向上等これから先、

自分の力で生活する能力をつけるようこの1年取り組んできた。
地域に帰った園児も集団活動ができずに、平行通園となる例もあがり、再入園して改善の結果がでた。

2、職員体制

管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 保育士 4 名 児童指導員 5 名

3、支援

(1)利用者の状況

	未就学	小学生	中学生	高校生	合計
男子	7	8	2	3	20
女子	6	2	3	2	13
合計	13	10	5	5	33

(2)利用者出身市町村

	香芝市	大和高田市	葛城市	広陵町	その他	合計
男子	15	1	0	0	4	20
女子	11	0	0	1	1	13
合計	26	1	0	1	5	33

(3)生活

タイムテーブル

10:00	どんぐり到着	※朝礼 排泄、うがい、手洗い	13:30	どんぐり到着	※到着 排泄、うがい、手洗い
	朝礼 排泄	バイタル、体調チェック		手洗い・排泄	バイタル、体調チェック
10:30	日課活動	今日の予定の発表	14:00	日課活動	今日の予定の発表
	フラッシュカード文字遊び			フラッシュカード文字遊び	
	本読み及び読み聞かせ			本読み及び読み聞かせ	
	室内サーキット	※午前 視覚、聴覚の訓練			※午後 視覚、聴覚の訓練
11:30	昼食		15:00	排泄 水分補給	
12:45	排泄			※活動内容 曜日により決定	
13:00	活動	※活動内容 曜日により決定	15:30	日課活動	表-1参照
13:45	排泄 水分補給	表-1参照			
14:00	どんぐり出発	出発前 バイタル、体調チェック	16:30	終わりの会	※終わりの会 バイタル、体調チェック
		連絡帳の記入		排泄 水分補給	連絡帳の記入
		明日の予定の発表	17:00	どんぐり出発	明日の予定の発表

(表-1)

	目的・目標	活動内容
制作	・制作をすることにより、手先を使い、色彩の感受性などを培い、五感の発育を促す事を目的とする	・ねんど制作 ・お絵かき ・折り紙 ・工作など
自由活動	・他の活動以外の支援を柔軟に遂行し、バランスのとれた活動とすることを目的とする	・お歌の練習 ・おゆうぎ など
入浴	・身体の清潔を保ち、心身ともリラックスする ・洗身洗髪の訓練、入浴の習慣をつけることを目的とする	・脱衣 ・洗身 ・洗髪 ・着服
交流	・同世代のお友達と交流をはかり、集団生活というものを体験、理解、認識をして頂くことを目的とする	・ハルナ園児との交流
運動	・色々な道具や道具を使用し、運動能力を発達させるとともに身体機能の発育を促すことを目的とする	・園外の公園に出かける等

(4)健康管理

来園後のバイタルチェック等

4、地域との連帯

(1)年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。

(2)地域の幼稚園、保育園との交流会

(3)社会見学（消防署や公共施設の見学会）

5、防災

年2回の防火訓練を行う。

6、その他

Ⅶどんぐり学園河南校（児童発達支援事業、放課後等デイサービス）

1、総括

今年度も富田林保健センターとの関係が良好で、コロナ禍の中9月以降に問い合わせも増え、また河南町の障害福祉課、太子町の子育て支援課、富田林市の障害福祉課より紹介もあり、定員の10名にほぼ到達した。療育面では引き続き、多種の障がい、発達に不安のある児童を受け入れ、集団生活の適応能力向上を主に、日常生活動作の確立、コミュニケーション能力の獲得等、将来自分の力で出来るだけ生活する能力をつけるよう取り組んできた。

他方、地域交流の面ではコロナ禍のため、ほぼ全ての交流活動が出来ない年度となった。地域とともに共生する体制作りに関しては、今後の状況を注視し、慎重に取り組んでいく。

2、職員体制

管理者兼サービス管理責任者1名 保育士1名 児童指導員3名

3、利用者の状況

(1)学年別の状況

	未就学	小学生	中学生	高校生	合計
男子	12	5	1	0	18
女子	11	3	0	0	14
合計	23	8	1	0	32

(2)利用者出身市町村

	河南町	太子町	富田林	千早赤坂	その他	合計
男子	1	2	14	1	0	18
女子	1	2	10	0	1	14
合計	2	4	24	1	1	32

(3)生活

タイムテーブル

9 00	どんぐり到着 朝礼 排泄
10 00	日課活動 フラッシュカード 文字遊び 本読み及び 読み聞かせ
11 30	集団療育活動 昼食
12 30	自由活動 個別療育含む)
13 30	終わりの会 水分補給
14 00	どんぐり出発

※朝礼	排泄、うがい、手洗い バイタル、体調チェック 今日の予定の発表
-----	---------------------------------------

※午前	集団療育中心の活動
-----	-----------

※活動内容	曜日により決定 表-1参照
-------	------------------

※終わりの会	バイタル、体調チェック 連絡帳の記入 明日の予定の発表
--------	-----------------------------------

(表-1)

	目的・目標	活動内容
製作	・製作をすることにより、手先を使い、色彩の感受性などを培い、五感の発育を促す事を目的とする	・ねんど製作 ・お絵かき ・折り紙 ・工作など ・月毎にテーマを決めて製作物を作成
身辺自立	・着替えやトイレの他、様々な生活していく上で必要な技能を自力で出来るようにすることを目的とする	・トイレトレーニング ・ボタン通し ・食事など ・集団・個別に分かれて行う
自由活動	・他の活動以外の支援を柔軟に遂行し、バランスのとれた活動とすることを目的とする	・おもちゃあそび ・おゆうぎ など ・集団での活動をメインとする
交流	・同世代のお友達と交流をはかり、集団生活というものを体験、理解、認識をして頂くことを目的とする	・ハルナ園児との交流 ・地域幼・保との交流など
運動	・色々な遊具や道具を使用し、運動能力を発達させるとともに身体機能の発育を促すことを目的とする	・園庭での運動遊び ・農園活動 ・スポーツ講習 ・園外の公園あそび ・地域のおさんぽ探検など

(4)健康管理

来園後のバイタルチェック、連絡帳のやりとり等

4、 地域との連帯

(1) 年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。

(2)地域の幼稚園、保育園、介護施設・事業所への訪問等の交流会

(3)社会見学（消防署や公共施設の見学会・図書館・地元農業体験など）

5、防災

1ヶ月に1回の防火避難訓練を行う。

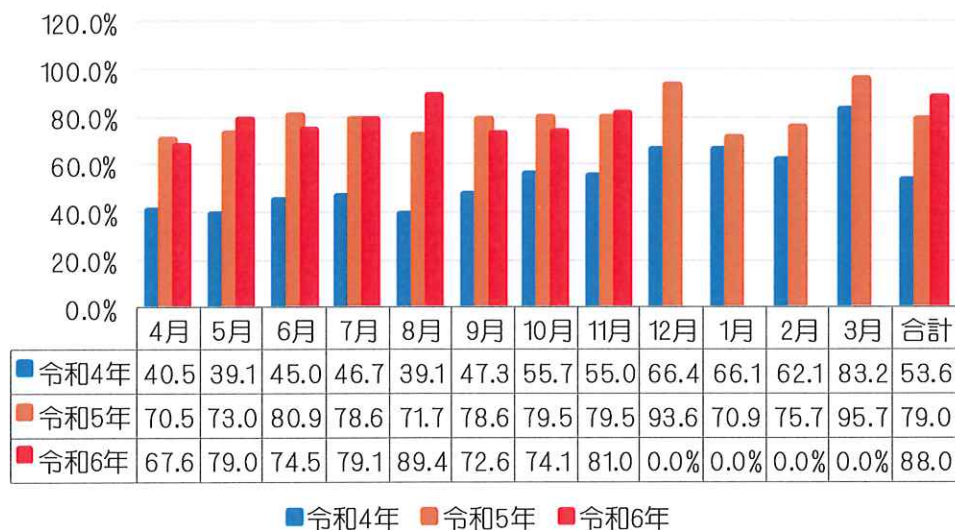
令和6年度 どんぐり学園 香芝校 報告書

どんぐり学園理念

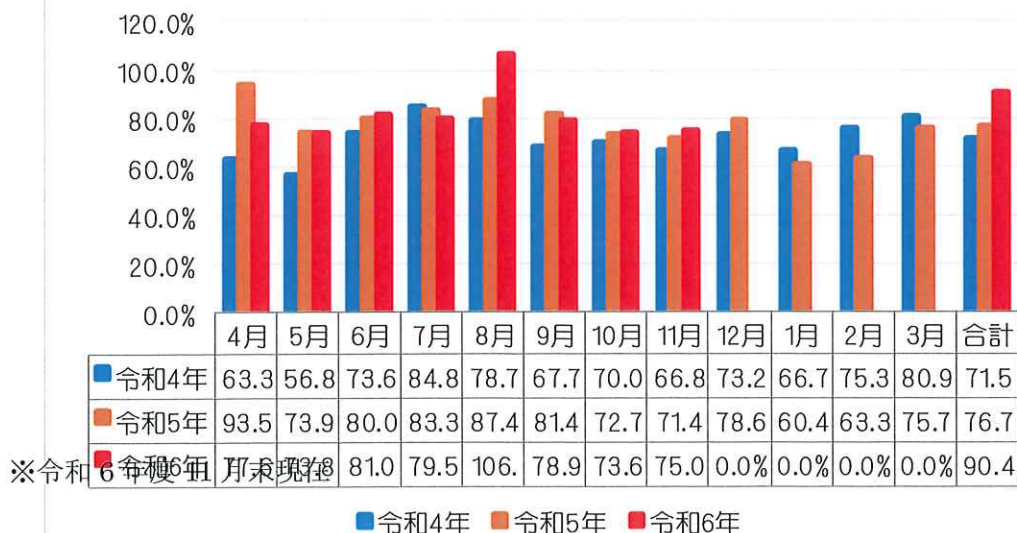
知的障害、発達障害等多種にわたる障害を持った児童に対し、集団生活の適応能力、日常生活動作の確立、コミュニケーション能力の向上等これから先、自分の力で生活する能力をつける

学園稼働率

児童発達支援稼働率



放課後等デイサービス稼働率



※令和6年度 4月～現在

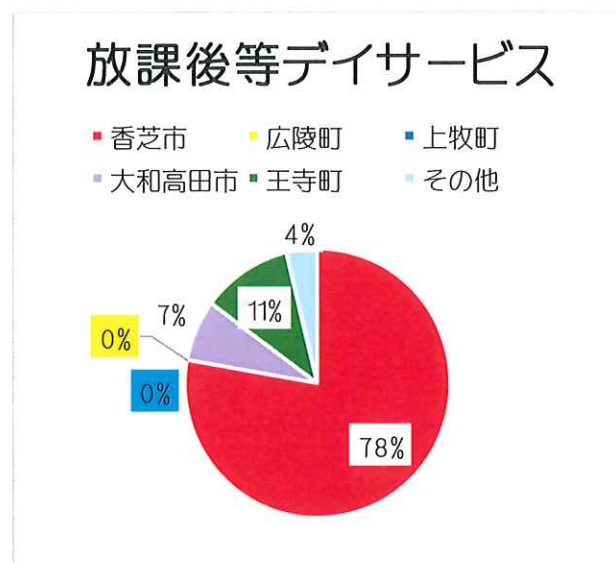
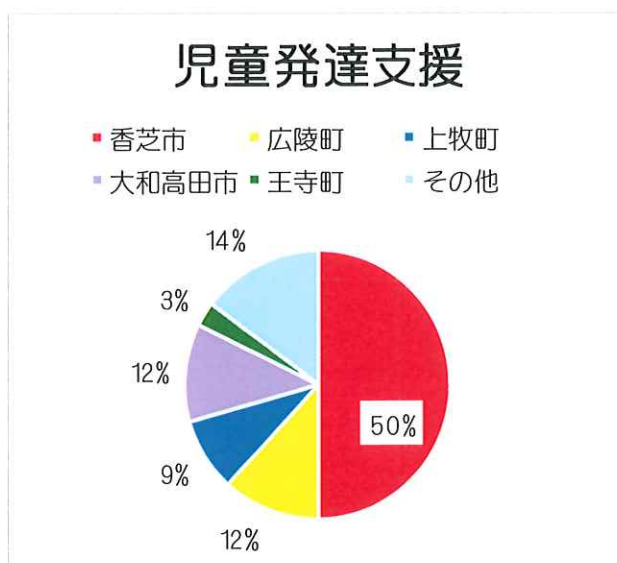
職員体制

管理者 兼 サービス管理責任者 1名 保育士 2名
児童指導員 6名 ドライバー 3名

利用者の状況（定員 20 名）



利用者出身市町村



どんぐり学園 河南校（児童発達支援事業、放課後等デイサービス）

職員体制

管理者兼サービス管理責任者 1 名 保育士 1 名

児童指導員 3 名（内、短時間勤務常勤職員 1 名） 庶務（ドライバー） 1 名

利用者の状況（定員 10 名）

① 学年別の状況

	未就学	小学生	中学生	高校生	合計
男子	9*並行 5	14	2	0	25
女子	3*並行 1	10	0	0	13
合計	12	24	2	0	38

② 利用者出身市町村

	河南町	太子町	富田林	千早赤坂	その他	合計
男子	0	4	19	1	1	25
女子	1	4	7	0	1	13
合計	1	8	26	1	2	38

今年度事業展開及び内容

○どんぐり学園河南校について

令和 5 年度末に 8 名の児童が卒園、令和 6 年度には新入園児 10 名受入れ。

設立丸 8 年が経過し、事業所としての認知度が上がったこと、どんぐり学園を卒園し地域の幼稚園、保育園等に入園できることは、学園の理念でもある『地域移行』に基づくものが実現できていると考える。

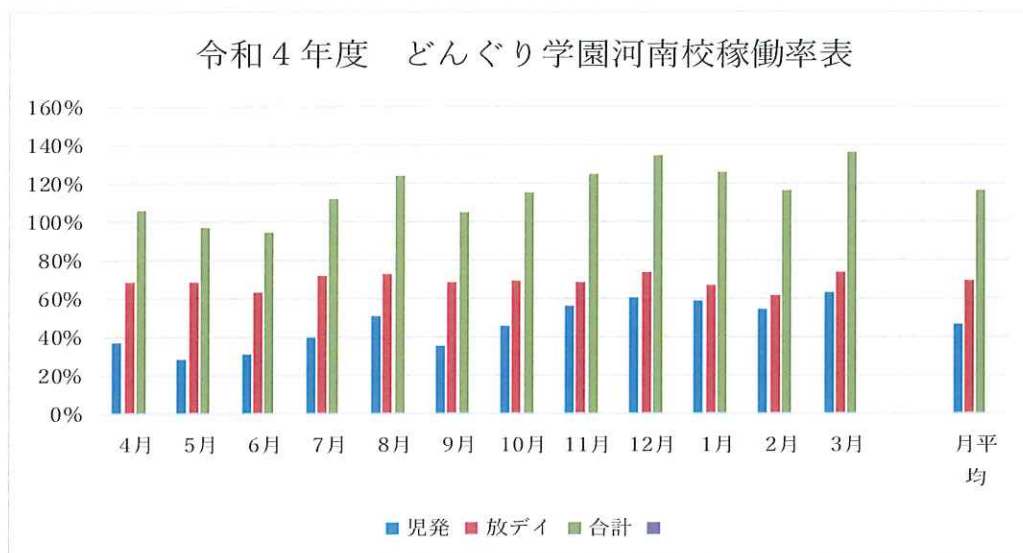
また、富田林市をはじめ、各市町村での療育を必要とする児童に対しての受け皿が広がったことを大きく感じる年度となった。新入児童に関しては、施設見学等を含む問い合わせ件数もコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、例年同様 10 月以降、学園利用につながる問い合わせも増え、新入児童も増加傾向にある。

富田林保健センターとの連携は引き続き堅調で、定員 10 名に対して、12 月末時点で平均稼働率は 108 %。（稼働率内訳は次ページ稼働率表を参照。）

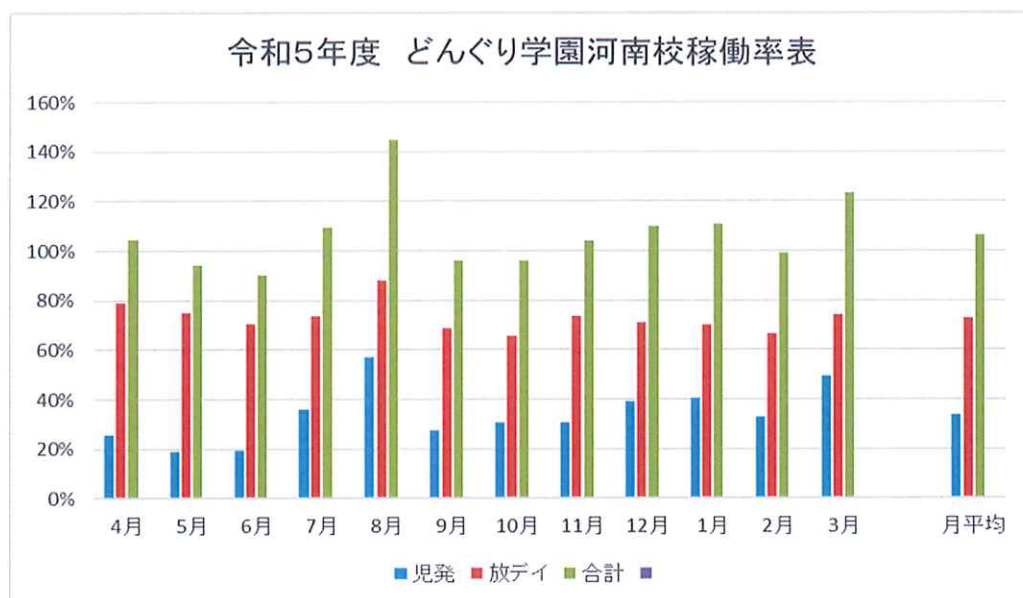
稼働率については、単価の高い『児童発達支援』は減少、『放課後等デイサービス』は増加。収入については、令和 6 年 4 月より加算要件を見直し増収となる。

また、どんぐり学園で療育を受け卒園した未就学児が、小学校入学を機に放課後等デイサービスとして復帰するケースも増え、設立から 8 年が経過した今、安定した循環が生まれてきている。

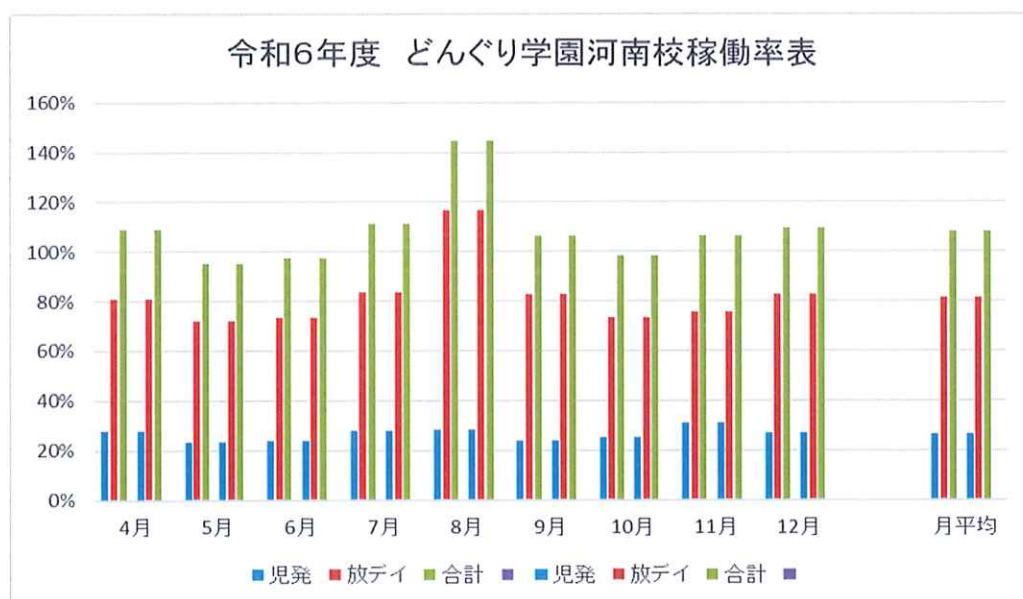
今後の課題として、河南町内の児童数減少により小学校が 2 校しかなく、地域貢献の意味合いからも地元地域からの利用児童増加に向けて、今まで以上に河南町関係各所との関係を深め、地域児童の居場所となるよう、連携していきたいと考える。



○月平均稼働率 116% (*令和4年休園措置なし)



○月平均稼働率 106% (*令和5年休園措置なし)



○月平均稼働率 108% (*令和6年12月末現在)

○発達支援、関係機関との連携について

どんぐり学園の理念『将来自分の力で出来るだけ生活する能力を身につける』ことが達成できるよう、集団適応、活動能力向上を主に発達支援に取り組む。

また学園を卒園し地域へ戻った児童の発達支援の場の継続として、並行通園する例も多く、幼稚園等の先生方がどんぐり学園へ見学に来られる、こちらから幼稚園等を訪問し相談を受けるなど相互関係が生まれ、情報共有と連携をすることによって、児童にとってより良い環境になるなど、地域との関わりをより深めてきた。

虐待事案等の困難ケースにおいても、特に太子町子育て支援課、富田林市こども応援課からの相談を受けることも多く、緊急性の高いケースの受け皿として信頼もいただく。

○送迎用バス 車内置き去り防止安全装置について

令和4年に静岡県で発生した送迎バスの児童置き去り死亡事案を受け、こどもの安心や安全を確保する観点から、国より送迎バス安全装置の設置義務化が示されたのを受け、令和5年7月に安全装置の設置対象となるハイエース1台分の設置を行う。

尚、購入及び設置費用は、大阪府の補助金として令和6年5月に全額支給された。

○地域交流、長坂地区自治会との交流について

コロナ禍の影響も徐々になくなり、外部との交流活動も少しずつできるようになってきた。コロナ禍以前に行っていたもので、高齢者施設への訪問は自粛しているが、河南町立のこども園との交流は少しずつ再開。地域資源の活用や近隣住民様方との関わりも再開している。また、学園香芝校との定期的な交流も継続してきた。

活動報告として、下記に活動、交流イベントを紹介。

「夏休み親子バーベキュー大会」の開催では、保護者同士の横のつながりを作ることができ、「夏休みお楽しみ縁日」や「年末おもちつき大会」、河南校農園での作物の植え付けや収穫体験も開催。また今年も「ハルナススポーツデイ」「雨宮知子様クリスマス童謡コンサート」への参加など、ハルナ園児との交流も実施。

地域活動では、設立当初より様々な場所で「ゴミ0活動」としての清掃活動、地域の方のご招待を受けての畑でのおいもほり、河南町立図書館への訪問など地域資源を活用していく中で、地域と共に共生する体制作りを念頭に取り組んでいる。

また、今年度より長坂自治会の清掃活動への参加、かなんぴあ内の河南町親子園との交流活動を開始。どちらの活動も地域住民の方の温かい配慮もあり、学園児童の社会性の向上にもつながっている。その関係性の中からも、将来の学園児童の就労に向けた取組も考えている。

社会福祉法人鳳雛会 ハルナ保育園事業報告書

I 保育園の運営

所在地	奈良県香芝市鎌田 2 8 1 - 1 香芝市瓦口 2 3 0 9 - 1 (I.B. グランド 1 0 2 号室) 香芝市穴虫 1 0 5 0 - 3
施設名	ハルナ保育園・五位堂分園・二上分園
定 員	1 8 8 名

II 保育目標

※心を育てる（感謝の心）

子どもたちは将来、社会で多くの人に支えられ、様々な考えを持った人と協力しあいながら人生を歩んでいきます。まわりの人や物事に感謝する心、人との関りや社会への興味を持つ心を育てる教育を大切にしています。

※世界を広げる（英語教育）

マルチリンガルの英語の先生が、子どもたちと日々の生活を一緒に過ごします。英語でのコミュニケーションだけでなく、異文化に触れ慣れることで、世界への好奇心を育みます。世界に友達がつくれる素地を育むための英語教育を行っています。

※あたまをきたえる（右脳教育）

自分で考え、行動するための「たくましい個の力」を育む教育を行っております。乳幼児期に吸収する様々な経験や環境は将来の子どもたちの力となり、未来社会に活躍する礎となる力を養います。

(1) 保育時間

午前 7 時 3 0 分～午後 6 時 3 0 分

但し、保護者の要望により早朝 7 時、延長保育は 2 3 時までの特別保育を実施。

(2) 保育内容

幼児体育・English・おゆうぎ・うた・ことば・劇あそび・製作・絵画・自然
おはなし・ころも・ダンス・知恵あそび

(3) 年間行事

春の遠足・七夕まつり・運動会・野菜収穫・クリスマス会・
おゆうぎ会・その他

III 保育方針

政府の保幼小一体化の方針に鑑み、昨年度に引き続き、保育のみによらない教育と遊びの活動の場として充実をはかることを今年度の運営方針とする。

教育は英語教育・漢字絵本の導入・右脳教育・遊びは大型遊具での粗大運動を取り入れ、園児の活動や発達を促進する。

IV 保育設備

※衛生管理

食中毒や細菌感染予防のため、衛生管理を目的とした「微細性除菌水生成装置」を設置し、清潔で安心安全な環境づくりに努めています。全教室には、次亜塩素酸空間除菌脱臭機（ジアイーノ）を設置しています。

※安全対策

- 各教室・園庭に防犯カメラ設置
- 奈良県警直通非常通報システム設置
- 自動体外式除細動器（AED）設置
- さすまたの設置
- 緊急地震速報受信機の設置
- 保護者証の携帯
- 緊急時引き渡しカード配布
- 園職員の救命講習実施
- バス置き去り防止装置設置
- バス前後・車内のドライブレコーダー設置